

塩竈市DX推進プラン

令和8年3月
宮城県塩竈市



目次

1. はじめに	… 3
2. 現行ビジョン・アクションプランの総括と課題	… 4
(1)総括	… 4
(2)現計画から見える主な課題	… 5
3. 国の動向	… 6
4. 塩竈市DX推進プラン	… 7
(1)計画期間	… 7
(2)基本理念と2つの基本方針	… 8
(3)基本方針に基づく具体的な施策	… 9
(4)基本方針における各種施策	…11
5. 具体的な事業	…12
6. 塩竈市DX推進プランの着実な実施に向けて	…24
7. 塩竈市におけるDXに向けた推進体制	…25
参考資料	…26

1. はじめに

— DX推進ビジョンとアクションプランの統合 —

近年、ICTやAIの進展、スマートフォンの普及により、私たちの生活や社会のあり方は大きく変化しています。新型コロナウイルス感染症を契機に、オンラインサービスやキャッシュレス化が急速に進展し、行政においても効率的で誰一人取り残さないサービス提供が求められるようになりました。人口減少や少子高齢化などの課題が進む中、限られた資源で持続可能な行政運営や地域課題解決を進めるため、自治体におけるDX推進の重要性が一層高まっています。

本市では、令和5年3月に策定した「塩竈市DX推進ビジョン」および「DX推進アクションプラン」に基づき、デジタル技術を活用した行政変革を進めてきました。その結果、行政手続のオンライン化や業務効率化、人材育成などに一定の成果が見られています。

一方で、ビジョンとアクションプランに分かれていることにより、理念と具体的な取組のつながりが把握しにくいという課題があったことから、基本理念から具体的な取組、評価・改善までを一体的に示す「塩竈市DX推進プラン」として再構成します。計画期間は5年間とし、市民サービスの向上と持続可能な行政運営の実現を目指します。

2. 現行ビジョン・アクションプランの総括と課題

(1) 総括

令和5年度から令和7年度までのDX推進アクションプランに基づく取組により、市民サービスの利便性向上や行政内部の業務効率化が進展しました。

行政手続のオンライン化やデジタルツールの活用が日常業務や市民との接点に定着しつつあるほか、DXリーダー制度や研修を通じて職員の意識が高まり、人的基盤が形成されました。また、デジタルデバイス対策を進め、「誰も取り残さないDX」に向けた基盤整備も進行中です。

これらの成果により、本市のDXは行政運営全体への定着・展開に向けた段階へ移行し、次期計画の重要な土台が築かれたと総括できます。

塩竈市DX推進アクションプラン 取組事項及び実績

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX			
施策1	電子申請の推進	手続数26件⇒64件	達成
施策2	公式LINEの機能拡張	登録者数13,760人⇒17,994人	達成
施策3	キャッシュレス決済の促進	試験導入完了、導入に向けた検証中	達成
施策4	書かない窓口の実装	市民課において実装済み	達成
施策5	スマホ教室の実施	満足度100%(R7)	達成
施策6	オンライン資格確認システム導入	浦戸診療所において実装済み	達成
基本方針2 行政の効率化に向けたDX			
施策1	職員用チャットツールの推進	ユーザー数(延べ)4,044人⇒6,254人	達成
施策2	職員のデジタルリテラシー向上	各年度12回以上の研修を実施	達成
施策3	情報システムの標準化・共通化	標準化79%	
施策4	RPAを活用した行政運営	RPAを活用した業務数1業務⇒3業務	
施策5	テレワークの実施	希望者が実施できた割合100%	達成
施策6	セキュリティ対策の徹底	セキュリティ研修受講率100%	達成
施策7	ペーパーレス会議環境の整備	R9までに用紙を50%削減	
基本方針3 地域の活性化に向けたDX			
施策1	オープンデータの充実	オープンデータ数1件⇒11件	達成
施策2	スマートストアの設置	方針転換により見送り	

2. 現行ビジョン・アクションプランの総括と課題

(2) 現計画から見える主な課題

■市民サービスの個別デジタル化

電子申請、窓口対応、キャッシュレス決済などが個別に進展する一方で、利用者目線での一体的なサービス設計(フロントヤード改革)が十分とは言えない。

■取組の「導入」から「定着・活用」への移行

書かない窓口やペーパーレス会議など、一部の取組では仕組みの導入は進んだものの、利用の浸透や定着に課題が残っている。

■業務効率化の横展開

AI・RPAやデジタルツールによる業務改善事例は生まれているが、他部門への展開や標準化に課題があり、効果が限定的にとどまる傾向が見られる。

■DX人材育成の停滞

DXリーダー制度や研修により意識改革は進んだものの、業務改革を主導する人材が組織全体に広がるまでには至っていない。

■デジタルデバイド対策

個人に対してのスマホ教室の取組は一定の効果을上げていているが、急速に進むデジタル化に悩んでいる方がまだ多くいる。

3. 国の動向

自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画の改定

国は、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」の改定を踏まえ、令和2年に地方公共団体が取り組むべきDXの方向性や重点事項を整理した「自治体DX推進計画」を策定しており、社会情勢の変化などを踏まえ、都度改定が行われています。令和8年1月の改定では、行政手続のデジタル化にとどまらず、業務改革(BPR)を前提とした行政全体の変革を進める方針が、より明確に示されました。

改定後の計画において、自治体に求められる主な重点取組事項は、次のとおりです。

○重点取組事項

自治体フロントヤード改革の推進

地方公共団体情報システムの標準化

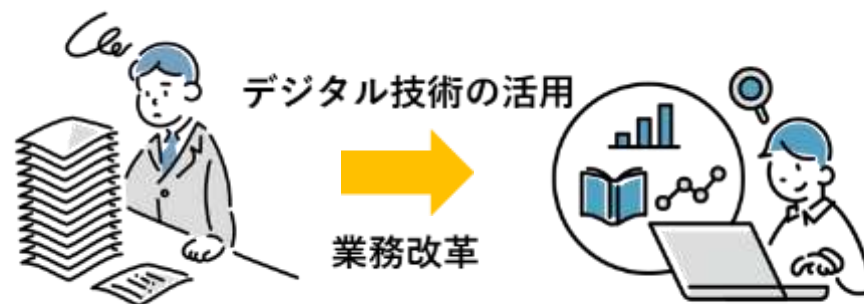
「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針」に基づく共通化等の推進

公金収納における eL-QR の活用

マイナンバーカードの取得支援および利活用の推進

セキュリティ対策の徹底

テレワークの推進



国は、急速な技術革新や社会環境の変化に柔軟に対応するため、計画期間を定めず、継続的に見直しを行いながらDXを推進する姿勢を示しています。自治体には、国の方針と整合を図りつつ、地域の実情に応じたDXを主体的に推進することが求められています。

4. 塩竈市DX推進プラン

(1) 計画期間

塩竈市DX推進プランは、第6次塩竈市長期総合計画に掲げる将来像「海と社に育まれる楽しい塩竈」を目指すための基本方針・基本計画に基づき実施される各種事業を、デジタル技術の側面から推進する計画です。

本計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とし、社会情勢や国の動向などの変化に応じて適宜見直しを行います。

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
塩竈市	塩竈市DX推進ビジョン		【計画期間】令和5～7年度			塩竈市DX推進プランとして統合				
	DX推進アクションプラン			【計画期間】令和6～7年度		【計画期間】令和8～12年度(適宜見直し)				
国	自治体DX推進計画	【計画期間】令和2～7年度				【計画期間】無期限(毎年度見直し)				

4. 塩竈市DX推進プラン

(2) 基本理念と2つの基本方針

国が掲げる「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を目指すため、2つの基本方針に基づき、DXを推進していきます。

国が掲げる基本理念

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会
～誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化～

基本方針

1
市民のサービス向上に向けたDX

2
行政の効率化に向けたDX

4. 塩竈市DX推進プラン

(3)基本方針に基づく具体的な施策

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX

市民のサービス向上のため、デジタル技術を活用することにより

利用者の目線に立った、誰にでもわかりやすく、利用しやすい行政サービスを提供します。

施策①:申請環境の改善

- 書かない窓口の利用促進及びキャッシュレス決済の導入を行い、窓口での住民サービスの向上を図ります。また、オンライン申請も促進し、市役所に来ることなく手続きが完結できるような環境を作ります。

施策②:デジタルデバйд対策

- 誰一人取り残されないデジタル社会の実現に向けて、高齢者等が身近な場所で身近な人からデジタル機器・サービスの利用方法を学んだり、相談できたりすることができる環境をつくれます。

施策③:住民サービス向上に向けたDXの推進

- 国の交付金を活用し、住民サービスの向上に向けたDX施策を着実に推進します。

4. 塩竈市DX推進プラン

(3)基本方針に基づく具体的な施策

基本方針2 行政の効率化に向けたDX

行政の効率化のため、デジタル技術を導入・活用することにより
企画立案や相談業務など「職員でなければできない業務」に注力できる環境をつくります。

施策①:職員のデジタルリテラシー向上、意識改革

■職員がデジタルツールを業務で活用することへの抵抗感が軽減され、日常業務におけるデジタル活用が業務効率化や改善に向けた意識が高まり、組織全体のDX推進につながる。

施策②:セキュリティ対策の徹底

■情報セキュリティポリシーに基づき職員研修や定期監査などを行うことにより、個人情報の情報漏えい等を防止し、市民が安全・安心に行政サービスを利用できるようにします。

施策③:事務のデジタル化

■公印の押印や紙での通知などのアナログ工程を見直し、行政の効率化と経費の削減を図ります。

4. 塩竈市DX推進プラン

(4)基本方針における各種施策

	取組名	取組概要
基本方針1 市民サービスの向上に向けたDX		
施策1	電子申請の推進	電子申請ツールやLINEを活用して行政手続きのオンライン化を推進します。
施策2	オンライン決済の促進	オンラインで手数料等の支払いができるようオンライン決済を推進します。
施策3	スマホ教室の実施	スマートフォンの操作が分からない方をサポートするため、スマホ教室を実施します。
施策4	窓口申請改革	申請書作成支援システムを軸に窓口申請の負担軽減を図ります。
施策5	住民サービス向上に向けたDXの推進	国の交付金を活用し、住民サービス向上に向けたDX施策を実施します。
施策6	住民サービス向上に向けたDX事業の着実な推進	住民サービス向上に向けたDX施策を確実に実施するため、関係部署と連携した推進を図ります。
基本方針2 行政の効率化に向けたDX		
施策1	職員のデジタルリテラシー向上、意識改革	職員のデジタルリテラシー向上を図るため、DX研修を実施します。
施策2	生成AIの活用促進	生成AIによる業務効率化を図るため、利用する生成AIや利用の手引きの見直しを行います。
施策3	セキュリティ対策の徹底	情報漏えいや重大なインシデントの発生を防ぐため、セキュリティ研修や監査を実施します。
施策4	自治体SMSを活用した広報の効率化	市の広報を広く効率的に周知するため、公式LINEの他、SMSを活用した広報を推進します。
施策5	情報システムの標準化	移行が完了していない業務の標準化に引き続き取り組んでいきます。
施策6	RPAを活用した行政運営	更なる効率化を図るため、RPAの利用を促進します。

5. 具体的な事業

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策1

事業名	電子申請の推進						
内容	電子申請ツールやLINEの機能を活用し、オンライン申請が可能な手続を拡充させることで、利用者の利便性を高める。同時に窓口BPRをはじめ、各種フローを見直し、受付作業の効率化により職員の負担軽減を目指す。						
効果	利用者の利便性向上やシステム化によるヒューマンエラーの低減、業務の効率化が期待できる。						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	対象手続の見直し	→					
	運用・活用拡大	→					
目標値①	電子申請が可能な手続数(件)	60	68	72	76	80	83
実績値①		64					
目標値②	電子申請利用率(%)	—	30	35	40	45	50
実績値②		—					
事業費	単位(千円)	2,848	1,617				
定性評価	—						
担当部署	政策課						

5. 具体的な事業

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策2

事業名	オンライン決済の促進						
内容	令和7年度に整備したオンライン決済の利用を促進し、住民の利便性向上と窓口での混雑を解消させる。						
効果	利用者の利便性の向上が期待できるほか、現金取扱リスク(間違い、紛失、盗難等)の軽減が期待できる。						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	導入手続の選定						
	導入						
目標値	オンライン決済が可能な手続き数	—	8	10	12	14	16
実績値		6					
事業費	単位(千円)	1,932	816				
定性評価	—						
担当部署	会計課、財政課、政策課、市民課、税務課 等						

5. 具体的な事業

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策3

事業名	スマホ教室の実施						
内容	前期アクションプランに引き続き、スマートフォンを持っているが使い方がわからない、持っていないがスマートフォンに興味があるなど、主にデジタル初心者向けの住民を対象としたスマホ教室を、事業者と協力して実施する。						
効果	市内におけるデジタルデバイド(情報格差)の是正が図られるほか、オンライン手続きの利用率向上が期待できる。						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	検討	→	→	→	→	→	→
	実施	→	→	→	→	→	→
目標値	講座内容が理解できた人の割合(%)	—	50	60	70	80	90
実績値		—					
事業費	ゼロ予算	—	—	—	—	—	—
定性評価	—						
担当部署	政策課						

5. 具体的な事業

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策4

事業名	窓口申請改革						
内容	令和6年12月に書かない窓口を導入し、窓口申請における申請書記入の負担軽減や混雑緩和を図ったが、利用者へ浸透しておらず、また、業務フローが複雑化したことで期待された効果を得られなかった。引き続き申請書作成支援システムの利用を推進しつつ、窓口業務を全体的に見直しながらキャッシュレス決済の導入を図ることで、更なる住民サービスの向上を目指す。						
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口への移動負担の軽減と窓口混在の解消 ・現金を取り扱わないことによる会計時間の短縮と現金取扱リスクの緩和 						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	窓口BPR						
	キャッシュレス決済の導入	導入方針の決定					
	運用開始						
目標値	書かない窓口利用件数(件)	1,827 (R8.2時点)	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
実績値		—					
事業費	単位(千円)	—					
定性評価	—						
担当部署	政策課、財政課、市民課						

5. 具体的な事業

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策5

事業名	住民サービス向上に向けたDXの推進						
内容	更なる住民サービス向上をデジタル技術の側面から実現していくことにより、よりよい住民サービスの創出・向上を図るため、国の地域未来交付金を活用し、新たな住民サービス向上を目的とした施策を推進する。						
効果	・有利な財源である地域未来交付金を活用し、市民サービスの向上を目指す。						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	施策の検討	→	→	→	→	→	
	申請		→	→	→	→	
	実施		→	→	→	→	→
目標値	施策の実施数	—	2	4	6	8	10
実績値		—					
事業費	単位(千円)	—	25,202	検討結果より算出	検討結果より算出	検討結果より算出	検討結果より算出
定性評価	—						
担当部署	政策課、各担当課						

5. 具体的な事業

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策6

事業名	住民サービス向上に向けたDX事業の着実な推進						
内容	国の地域未来交付金等の支援制度を活用し採択されたDX関連事業について、計画に基づき着実に実施します。あわせて、事業の進捗管理や効果検証を行い、成果が確認できた取組については、全庁的な展開や継続的な施策への移行を図ります。						
効果	・有利な財源である地域未来交付金を活用し、市民サービスの向上を目指す。						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	進捗管理						
目標値	事業全体のスケジュール進捗率	—	100	100	100	100	100
実績値	(%)	—					
事業費	ゼロ予算事業	—	—	—	—	—	—
定性評価	—						
担当部署	政策課、各担当課						




5. 具体的な事業

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策1

事業名	職員のデジタルリテラシー向上、意識改革						
内容	生成AI研修、Excel研修(基礎から関数まで)及び本市で導入しているデジタルツールの操作研修等を通じ、職員が日常業務においてデジタル技術を活用できる基礎的なリテラシーの向上を図る。研修の実施に加え、業務における活用実感を重視し、デジタル技術を業務改善につなげる意識の醸成を図る。						
効果	職員がデジタルツールを業務で活用することへの抵抗感が軽減され、日常業務におけるデジタル活用が定着する。あわせて、業務効率化や改善に向けた意識が高まり、組織全体のDX推進につながる。						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	体験会の開催						
	講習会の開催						
目標値	デジタルツールを活用できていると感じている割合 (%)		50	55	60	65	70
実績値		—					
事業費	ゼロ予算事業	—	—	—	—	—	—
定性評価	—						
担当部署	政策課、総務人事課						

5. 具体的な事業

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策2

事業名	生成AIの活用促進						
内容	令和6年度に生成AIを導入して2年が経過し、職員内で生成AIの活用が浸透していく中、更なる業務効率化を図るため、活用する生成AIや生成AI利用の手引きの見直しを行うなど、業務の効率化や作業負荷の軽減、業務品質の向上を目指す。						
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・文書作成・調査業務の時間短縮 ・職員の企画立案・対人業務への注力 ・業務品質の平準化 						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	見直し・検討						
	導入						
	利用の拡大						
目標値	業務効率化を実感した職員割合(%)	—	—	30%	40%	50%	60%
実績値		—	—				
事業費	単位(千円)	—	検討結果より算出				
定性評価	—						
担当部署	政策課						

5. 具体的な事業

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策3

事業名	セキュリティ対策の徹底						
内容	塩竈市行政情報セキュリティポリシーの見直しを適宜行い、セキュリティ対策を充実させることで、情報漏洩等、重大なインシデントの発生を防ぐ。 また、職員の情報セキュリティ意識の向上を図るための研修や監査を実施し、リテラシーの向上を図る。						
効果	市が保有する情報資産の情報漏洩等のセキュリティリスク低減、情報システムの安定的な運用が期待される。						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	ポリシー見直し						
	セキュリティ監査						
	USBセキュリティ強化						
目標値	研修の受講率	95	100	100	100	100	100
実績値	(%)	100					
事業費	単位(千円)	—	187				
定性評価	—						
担当部署	政策課						

5. 具体的な事業

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策4

事業名	自治体SMSを活用した広報の効率化						
内容	スマートフォンを所有している住民への各種行政手続きに関する通知や広報などは、公式LINEを活用してお知らせしているが、一部は郵送による紙で通知を行っているものが存在している。自治体SMSを活用することで、LINEを利用していなくともデジタルの手段で通知を送信することで、業務効率化と郵送コスト削減を目指す。						
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせを一斉送信することによる業務効率化 ・郵送コストの削減 ・的確で効率的な情報伝達が可能となる。 						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	利用業務の選定	→					
	利用促進	→					
目標値	通知数(件)	—	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
実績値		—					
事業費	単位(千円)	—	97	97	97	97	97
定性評価	—						
担当部署	財政課						

5. 具体的な事業

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策5

事業名	情報システムの標準化						
内容	<p>情報システムのクラウド化など、共用化を促進することで、運用経費削減、セキュリティ水準の向上、災害時における業務継続性の確保に取り組む。</p> <p>国が進めている基幹系20 業務に関する自治体情報システムの標準化移行を速やかに行い、運用・保守などのシステム関連コストの削減を図る。</p>						
効果	<p>運用・保守などにかかるシステム関連コストの削減が期待できる。</p> <p>また、業務システム間のデータ連携を一元管理することで、窓口対応における効率化が期待できる。</p>						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	移行作業	→					
	移行完了・運用				→		
目標値	標準化移行業務数	14	17	20	—	—	—
実績値	(業務)	—					
事業費	単位(千円)	254,261	27,940	13,860			
定性評価	—						
担当部署	各担当課、政策課						

5. 具体的な事業

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策6

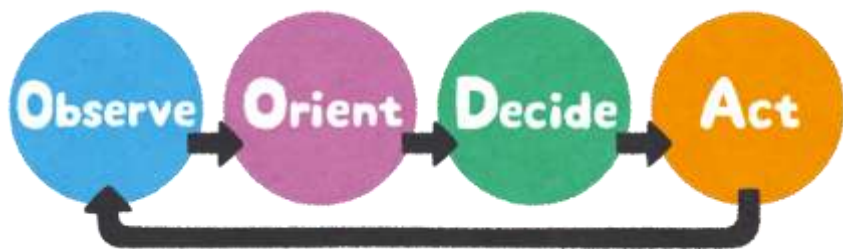
事業名	RPAを活用した行政運営						
内容	単純な事務作業にRPAを活用し、職員の業務効率化及び事務負担軽減を図るとともに、効率的で安定的な行政運営を確立させる。 また、RPAを活用可能な業務の検討・調査を行い、実装可能なものがあれば、導入を推進する。						
効果	職員の業務効率化及び事務負担軽減による業務時間削減や、ヒューマンエラーの防止が期待できる。						
スケジュール	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	導入事務の検討						
	利用拡大						
目標値	稼働業務数	4	4	5	6	7	8
実績値		3					
事業費	単位(千円)	2,591	1,320				
定性評価	—						
担当部署	各担当課、政策課						

6. 塩竈市DX推進プランの着実な実施に向けて

基本方針に基づく施策を進めるため、OODAループ手法を取り入れ、日々、進歩するデジタル技術の状況に柔軟に対応します。

デジタル化に向けては、今後も日々、進歩するデジタル技術の状況を踏まえ、社会情勢や最新技術の動向等の変化にも柔軟に対応し、計画自体を常に最適化していくことが求められます。

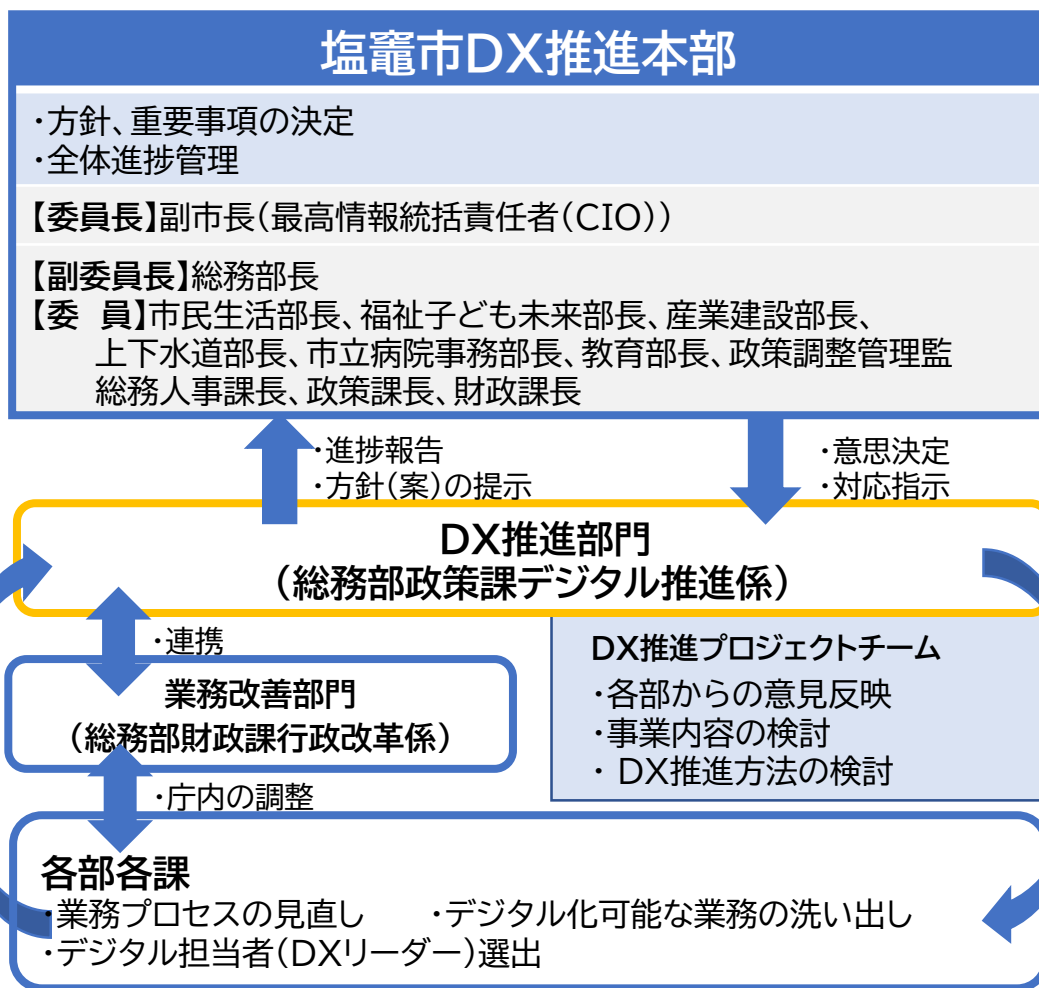
このため、日々変化する状況において、OODA ループ手法によって、変化の状況を観察し、迅速かつ的確に判断し、臨機応変に意思決定することで、最適な行動につなげていくこととします。



※OODAループ手法とはObserve(観察、情報収集)→ Orient(方向性判断)→ Decide(意思決定)→ Act(行動)という4つのポイントを状況変化に応じて繰り返すことで成果につなげる意思決定方法のことです。

7. 塩竈市におけるDXに向けた推進体制

DXに向けた推進体制として、DX推進部門(総務部政策課デジタル推進係)が中心となり、各部各課との連携のもと、全庁的かつ組織横断的に取り組んでいきます。



副市長を委員長とする「塩竈市DX推進本部」において総合的かつ戦略的にDXを推進します。さらに、副市長を最高情報統括責任者(CIO)とし、技術導入の助言等を行うCIO補佐官を確保した推進体制の整備を検討します。

また、各部からの選出などで横断的に組織するDX推進プロジェクトチームにより、施策の検討、DX推進方法の検討などを行います。

なお、各部各課については、業務改善部門と連携し、業務プロセスの見直しを行い、DX推進部門と一緒にシステム導入、運用等に取り組みます。

- ・DXプランの施策推進
- ・業務のデジタル化サポート
- ・セキュリティ研修の実施
- ・データ活用サポート

(参考資料)

塩竈市DX推進プランと国の自治体DX推進計画との関係性

塩竈市

第6次長期総合計画
海と社に育まれる楽しい塩竈

デジタル技術の側面から推進

塩竈市DXプラン

基本方針1:市民のサービス向上に向けたDX

- ①申請環境の改善
- ②デジタルデバイド対策
- ③教育の場におけるDXの推進

基本方針2:行政の効率化に向けたDX

- ①職員のデジタルリテラシー向上、意識改革
- ②セキュリティ対策の徹底
- ③事務のデジタル化

国

デジタル社会の実現に向けた重点計画
デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会

地方のデジタル化を支援

国の自治体DX推進計画

自治体フロントヤード改革の推進

地方公共団体情報システムの標準化

「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針」に基づく共通化等の推進

公金収納におけるeL-QRの活用

マイナンバーカードの取得支援・利用促進

セキュリティ対策の徹底

自治体のAIの利用推進

テレワークの推進

連携

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策1

事業名	電子申請の推進																	
内容	スマートフォンやパソコン等を利用し、時間や場所を問わずにオンラインで行える手続きを充実させることで利用者の利便性向上を図る。また、受付作業の短縮などにより、職員の業務効率化を図るもの。 導入している電子申請ノーコードツールを活用した手続きのオンライン化を検討し、各種フローの見直しを行いながら手続きのオンライン化を拡充していく。																	
効果	利用者の利便性向上やシステム化によるヒューマンエラーの低減、業務の効率化が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	対象手続きの見直し	計画	■	■	■	■												
		実績	■	■	■	■												
	導入	計画					■	■	■	■								
		実績					■	■	■	■								
	運用・活用拡大	計画									■	■	■	■	■	■	■	■
実績										■	■	■	■	■	■	■	■	
目標値	電子申請可能な申請数		26				40				50				60			
実績値	電子申請可能な申請数		—				40				56				64			
事業費	単位(千円)		792				4,916				R5一括支払い				R5一括支払い			
定性評価																		
見直し・改善	庁内に電子申請ツールの活用が浸透してきたことで、目標値を達成できた。庁内調査では電子申請が可能な手続きがまだ存在することが確認されているため、引き続き取り組んでいく。																	
担当部署	政策課																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策2

事業名	公式LINEの機能拡張																	
内容	本市公式LINEは、本市で利活用しているSNSの中で最も利用者数が多いツールとなっている。公式LINEの機能を拡張することで、情報発信ツールとしての利用だけでなく、施設予約等を行うことのできるツール及び行政手続きのポータルサイトとして活用し、利用者の利便性向上を図る。																	
効果	利用者の利便性向上やシステム化によるヒューマンエラーの低減、業務の効率化が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	導入検討	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
		実績	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
	導入	計画									■	■						
		実績									■	■						
	運用・活用 拡大	計画									■	■	■	■	■	■	■	■
実績										■	■	■	■	■	■	■	■	
目標値	登録者数累計(名)		—				13,760				14,340				14,920			
実績値			—				14,003				15,006				17,994			
事業費	単位(千円)		—				—				4,950				R6一括			
定性評価	—																	
見直し・改善	広報誌やスマホ教室などで市公式LINEを周知し、かつ拡張機能を活用したLINE上での手続きを行ったことで、市公式LINE登録者が増加した。																	
担当部署	政策課、秘書広報課																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策3

事業名	キャッシュレス決済の促進																	
内容	市窓口での証明書等交付手数料の支払いや、納税をキャッシュレスで支払い可能にするためのシステムや環境を整備し、多様な決済手段に対応できるようにすることで、住民の利便性を向上させる。																	
効果	利用者の利便性の向上が期待できるほか、現金取扱リスク(間違い、紛失、盗難等)の軽減が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	導入検討	計画	■	■	■	■	■	■	■	■								
		実績	■	■	■	■	■	■	■	■								
	試験導入	計画									■	■	■	■				
		実績									■	■	■	■				
	検証	計画													■	■	■	■
実績														■	■	■	■	
目標値	定性評価		—				—				—				—			
実績値			—				—				—				—			
事業費			単位(千円)		—				—				—				—	
定性評価	試験導入の結果やキャッシュレスレジ体験会を通じた意見交換などを踏まえ、キャッシュレス決済の導入方針を決定した。																	
見直し・改善	オンライン決済を一部行政手続きに導入したことで、住民の利便性向上を図ることができた。今後は、令和7年度に決定した窓口キャッシュレス決済の導入方針に基づき、導入に向けた検討を行う。																	
担当部署	会計課、財政課、政策課、市民課、税務課 等																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策4

事業名	書かない窓口の実装																	
内容	ウェブサイトやLINE上から申請に必要な情報を事前に入力することで来庁時に複数の申請書に記載する手間を省く事前申請システムや、マイナンバーカードを利用し、証明書申請時に記入が不要となる申請書作成支援システムの導入を検討するなど、書かない窓口の実装を推進する。																	
効果	窓口で申請書を記入する手間がなくなり、手続きにかかる時間が短縮される。また、申請内容の確認を行う職員の業務負担が軽減されるほか、窓口の混雑緩和が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	導入検討	計画	■	■	■	■	■	■	■	■								
		実績	■	■	■	■	■	■	■	■								
	自治体視察	計画					■	■	■	■								
		実績					■	■	■	■								
	構築・運用	計画									■	■	■	■	■	■	■	■
実績										■	■	■	■	■	■	■	■	
目標値	定性評価		—				—				—				—			
実績値			—				—				—				—			
事業費	単位(千円)		—				—				1,430				—			
定性評価	令和7年度から利用案内を強化したことで利用件数が増加した。																	
見直し・改善	「書かない窓口」の導入により一部利用者から好評を得たが、業務フローの複雑化や期待された効果の限定が課題となった。今後、窓口業務の見直しやフロントヤード改革を進め、利用者負担軽減と職員負担軽減の両立を図る。																	
担当部署	政策課、財政課、市民課 等																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策5

事業名	スマホ教室の実施													
内容	スマートフォンを持っているが使い方がわからない、持っていないがスマートフォンに興味があるなど、主にデジタル初心者向けの住民を対象としたスマホ教室を、事業者と協力して実施する。													
効果	市内におけるデジタルデバイド(情報格差)の是正が図られるほか、オンライン手続きの利用率向上が期待できる。													
スケジュール	内容		R4			R5			R6			R7		
	検討	計画	■	■		■	■		■	■		■	■	
		実績	■	■		■	■		■	■		■	■	
	実施	計画			■	■		■	■		■	■		■
実績				■	■		■	■		■	■		■	■
目標値	満足度(%)		—			89			93			95		
実績値			81			90			97			100		
事業費	ゼロ予算		—			—			—			—		
定性評価	—													
見直し・改善	移動型スマホ教室をショッピングモールや利用者の多い公共施設で実施したことに併せて、LINEの使い方や安心してスマホを利用するための講座を中心に実施したことにより、参加者の満足を得られた。													
担当部署	政策課													

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針1 市民のサービス向上に向けたDX 施策6

事業名	オンライン資格確認システム導入																	
内容	義務化されるオンライン資格確認に対応するためのシステムを導入し、マイナンバーカードを用いた健康保険証確認、特定健診・薬剤情報の閲覧を可能とするもの。																	
効果	マイナンバーカードの普及促進が図られるほか、医療環境が整うことにより、利用者がより良い医療を受けられるようになる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	運用・管理	計画																
		実績																
目標値	定性評価		—				—				—				—			
実績値			—				—				—				—			
事業費	単位(千円)		1,856				病院情報システム 保守費用に内包				病院情報システム 保守費用に内包				病院情報システム 保守費用に内包			
定性評価	昨年度導入し、マイナンバーカードを所有している方に利用していただいた。																	
見直し・改善	今後もマイナ保険証を登録している方に利用を促し、少しずつ浸透させる取組を実施していく。																	
担当部署	市立病院																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策1

事業名	職員用チャットツールの推進																	
内容	誤投稿や情報漏洩を防ぐために導入しているチャットツールについて、利用率の上昇や活用機会を拡大させるため、研修の実施や利用事例の創出を図る。																	
効果	職員間のコミュニケーションツールとして活用することで、職場環境の向上が期待できる。また、情報共有手段として利用することで、伝達ミスの防止や業務の効率化が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	導入準備	計画	■															
		実績	■															
	導入	計画		■														
		実績		■														
	運用管理	計画			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
実績				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
目標値	年間アクティブユーザー数(人(累計))		—				4,500				5,000				5,500			
実績値	年間アクティブユーザー数(人(累計))		4,044				4,899				5,661				6,254			
事業費	単位(千円)		—				2,772				3,916				3,835			
定性評価	—																	
見直し・改善	チャットツールの利用が浸透し、目標を達成することができた。現在利用しているチャットでは利用ができない機能の追加を求める声が多く寄せられていることから、利便性向上に向け今後も取り組んでいく。																	
担当部署	政策課																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策2

事業名	職員のデジタルリテラシー向上、意識改革																	
内容	デジタル技術等を活用した業務の見直しや提案を行うことができる職員を育成するため、eラーニング等を活用した庁内研修やデジタル技術の体験会を定期的を開催し、職員のデジタルリテラシー及びDXに対する意識の底上げを図る。																	
効果	具体的な業務見直しや提案によるDX推進のほか、各職場において、職員自らがDX推進を担っていくための環境構築や、DXを推進していくという雰囲気醸成が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	体験会の開催	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		実績	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	講習会の開催	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
実績		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
目標値	研修回数(回)		—				12				12				12			
実績値			—				15				13				12			
事業費	単位(千円)		—				—				—				—			
定性評価	—																	
見直し・改善	国の制度を活用し、DX関連研修(生成AI,電子申請,Excel等)を複数回実施した。参加者にも好評な研修であった一方で、研修難易度に関する声が見受けられた。今後も参加者に合わせた難易度の研修を企画し、内容の充実化を図りながら実施していく。																	
担当部署	政策課、総務人事課																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策3

事業名	情報システムの標準化・共通化																	
内容	情報システムのクラウド化など、共用化を促進することで、運用経費削減、セキュリティ水準の向上、災害時における業務継続性の確保に取り組む。 国が進めている基幹系20業務に関する自治体情報システムの標準化移行を速やかに行い、運用・保守などのシステム関連コストの削減を図る。																	
効果	運用・保守などにかかるシステム関連コストの削減が期待できる。また、業務システム間のデータ連携を一元管理することで、窓口対応における効率化が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	情報収集・検討	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
		実績	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
	移行計画作成	計画							■	■								
		実績							■	■								
	移行作業	計画													■	■	■	■
実績														■	■	■	■	
目標値	標準化進捗率(%)		—				55				77.5				100			
実績値	標準化進捗率(%)		—				55				75				79			
事業費	単位(千円)		8,173				16,533				54,357				343,323			
定性評価	—																	
見直し・改善	遅延が見込まれる4業務については、国の方針や補助の動向に応じて適切に対応する。																	
担当部署	各担当課、政策課																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策4

事業名	RPAを活用した行政運営																	
内容	単純な事務作業にRPAを活用し、職員の業務効率化及び事務負担軽減を図るとともに、効率的で安定的な行政運営を確立させる。 また、RPAを活用可能な業務の検討・調査を行い、実装可能なものがあれば、導入を推進する。																	
効果	職員の業務効率化及び事務負担軽減による業務時間削減や、ヒューマンエラーの防止が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	運用・検証	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		実績	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	利用拡大	計画							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
実績								■	■	■	■	■	■					
目標値	定性評価		—				2				3				4			
実績値			1				2				3				3			
事業費	単位(千円)		2,143				—				3,590				2,591			
定性評価	—																	
見直し・改善	収納課の口座振替においてRPAの導入を検討していたが、情報システムの標準化対応中であったことから、標準化対応後に改めて導入する方向で検討することとした。																	
担当部署	政策課																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策5

事業名	テレワークの実施																	
内容	テレワークを実施可能な環境を整備することで、柔軟で継続性の高い行政運営体制を構築するとともに、職員の環境に寄り添った、働き方の多様化を目指す。																	
効果	社会状況に応じ、職員一人ひとりのライフステージに合った多様な働き方の実現と業務効率化が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	導入検討	計画	■	■	■	■	■	■										
		実績	■	■	■	■	■	■										
	環境整備・導入	計画							■	■								
		実績							■	■								
	運用・管理	計画									■	■	■	■	■	■	■	■
実績										■	■	■	■	■	■	■	■	
目標値	希望する職員のうち、実施できた職員の割合(%)		—				50.0				50.0				50.0			
実績値			—				100				100				100			
事業費	単位(千円)		—				93				93				77			
定性評価	—																	
見直し・改善	テレワークができる環境を整備したことで、一定数のテレワークを利用する職員は存在したが、業務の特性やアナログ処理が多い業務がある部署では、テレワークを利用できない状況にある。今後、業務の見直しを行い、ワークライフバランスが取れる職場環境の構築を引き続き目指していく。																	
担当部署	総務人事課、政策課、財政課																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策6

事業名	セキュリティ対策の徹底																	
内容	塩竈市行政情報セキュリティポリシーの見直しを適宜行い、セキュリティ対策を充実させることで、情報漏洩等、重大なインシデントの発生を防ぐ。また、職員の情報セキュリティ意識の向上を図るための研修や監査を実施し、リテラシーの向上を図る。その他、生体認証(指紋認証)の導入や、USBによる情報漏洩対策としてUSBセキュリティ強化システムの導入を行う。																	
効果	市が保有する情報資産の情報漏洩等のセキュリティリスク低減、情報システムの安定的な運用が期待される。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	ポリシー見直し	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		実績	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	セキュリティ監査	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		実績	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	USBセキュリティ強化	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
実績		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
目標値	受講率(%)		—				95				95				95			
実績値			—				45				99				99			
事業費	単位(千円)		—				—				—				—			
定性評価	—																	
見直し・改善	標的型攻撃メール訓練を実施し、職員のセキュリティリテラシーの状況を把握しつつ、セキュリティポリシーの順守を呼びかけた。																	
担当部署	政策課																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針2 行政の効率化に向けたDX 施策7

事業名	ペーパーレス会議環境の整備																	
内容	WEB会議用機器や会議用モニターの増設、電子端末及びペーパーレス会議システムの導入を行うなど、デジタル技術を活用した会議環境を整備し、柔軟な働き方を推進するほか、会議に係る業務の効率化やペーパーレス化を図る。																	
効果	資料準備や会議運営の効率化が図られるほか、ペーパーレス化によるコスト削減が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	導入準備	計画	■	■	■	■	■	■	■	■								
		実績	■	■	■	■	■	■	■	■								
	導入	計画									■							
		実績									■							
	運用・管理	計画									■	■	■	■	■	■	■	■
実績										■	■	■	■	■	■	■	■	
目標値	R9年までに紙使用量		—				—				—				—			
実績値	50%削減		—				—				—				—			
事業費	単位(千円)		—				—				528				528			
定性評価	—																	
見直し・改善	利便性周知により様々な会議で利用された。しかし、同システムと紙資料併用で開催されるものも多くあったことから、今後紙資料なしで実施できるよう操作周知を図っていく。																	
担当部署	財政課、政策課																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針3 地域の活性化に向けたDX 施策1

事業名	オープンデータの充実																	
内容	市が保有するデータを、県が整備する宮城県及び市町村共同オープンデータポータルサイトに積極的に公開することで、様々な主体に活用機会を提供し、地域課題の解決や新たな価値・文化の創造を図る。																	
効果	利用者側のニーズに合ったデータを提供し、データ利活用の機会を促進することで、自発的な地域課題の解決や地域の活性化を推し進めることができる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	ルール整備	計画	■	■														
		実績	■	■														
	公開データ検討	計画			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		実績			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
	データ公開	計画			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
実績				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
目標値	オープンデータ数		—				6				11				11			
実績値	（データ）		1				6				11				11			
事業費	ゼロ予算		—				—				—				—			
定性評価	—																	
見直し・改善	県の計画に則り、オープンデータ公開数の充実を図った。																	
担当部署	政策課																	

塩竈市DX推進アクションプランの実績

基本方針3 地域の活性化に向けたDX 施策2

事業名	スマートストアの設置																	
内容	浦戸諸島に、人手に頼らず運営可能な、デジタル技術を活用した無人店舗であるスマートストアの設置を検討する。																	
効果	地域の買い物機能の維持が図られ、住民及び観光客の利便性向上が期待できる。																	
スケジュール	内容		R4				R5				R6				R7			
	実装検討	計画	■	■	■	■	■	■	■	■								
		実績	■	■	■	■	■	■	■	■								
	実証実験	計画							■	■								
実績								■	■									
目標値	利用者数(人)		—				検証				方針転換により見送り				方針転換により見送り			
実績値			—				—				—							
事業費	単位(千円)		—				—				—							
定性評価	—																	
見直し・改善	検討の結果、スマートストアの設置ではなく、島内の各拠点に日用品等を購入できる環境を整える実証事業を実施している。																	
担当部署	政策課、浦戸振興課																	

用語集

ア行

用語	説明
RFI (アールエフアイ)	「Request For Information(リクエスト・フォー・インフォメーション)」の略で、「情報提供依頼書」と呼ばれるものです。業務委託、入札、調達などを計画する際、業者に対して基本情報、技術情報、製品情報などの提示を求めること。
RPA (アールピーイー)	「Robotic Process Automation(ロボティック・プロセス・オートメーション)」の略で、これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。
ICT (アイシーティー)	「Information and Communication Technology(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)」の略で、パソコンやスマートフォン、タブレットなど、さまざまな形状のコンピュータを活用した情報処理や通信技術の総称。
イノベーション	新たなものを創造し、変革を起こすことで経済や社会に価値を生み出すこと。
OODAループ手法 (ウーダグループ手法)	観察(Observe)、情勢判断(Orient)、意思決定(Decide)、行動(Act)の4つの頭文字をとった言葉で意思決定のプロセスを表したものであり、4つのポイントを状況変化の中で繰り返すことで臨機応変に最適な対応を導き出す意思決定方法のこと。
AI (エーアイ)	「Artificial Intelligence(アーティフィシャル・インテリジェンス)」の略で、コンピュータがデータを分析し、推論や判断、最適化提案、課題定義や解決、学習などを行う人間の知的能力を模倣する技術のこと。
SNS (エスエヌエス)	「Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」の略で、Web上で人と人との交流などの社会的ネットワークを構築可能にするサービスのこと。

用語集

ア行～カ行

用語	説明
オープンデータ	国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もが、容易に無償で利用(加工、編集、再配布等)できる機械判読に適したデータのこと。
オンライン	コンピュータなどの機器がネットワークに接続された状態、あるいは、通信回線を通じて別のコンピュータなどに接続された状態のこと。主にインターネットに接続された状態のこと。
ガバメントクラウド	政府の情報システムについて、共通的な基盤・機能を提供する複数のクラウドサービスの利用環境のこと。
基幹系	住民票・印鑑証明、税、国民健康保険など住民サービスと密接にかかわるシステムのこと。
キャッシュレス決済	クレジットカード、デビットカード、電子マネー(プリペイド)やスマートフォン決済など、様々な手段を用いて、紙幣や硬貨などの現金を使用せずにお金を払うこと。
業務フロー	仕事のプロセスをわかりやすく示した流れのこと。

用語集

力行～サ行

用語	説明
クラウド	クラウドとはユーザー(企業、個人など)がインターネットなどの通信回線を通じて遠隔地にあるデータセンター等に用意された情報システムのサービスを受けることを可能にしたコンピュータ技術のこと。
コンパクトシティ	市町村の中心部に居住地や都市機能を集積させて、市街地の活性化や行政コストの削減を図り、利便性を向上させるまちづくりの考え方。
CIO (シーアイオー)	「Chief Information Officer(チーフ・インフォメーション・オフィサー)」の略で、最高情報統括責任者(本市では副市長)のこと。庁内マネジメントの中核であり、庁内全般を把握するとともに部局間の調整を行う役割。
CIO補佐官 (シーアイオー補佐官)	専門的な知見に基づき、本市における最高情報統括責任者(CIO)である副市長を補佐する職にある者のこと。
自治体DX推進計画	国が自治体のDXを推進するため、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化するとともに、総務省及び関係省庁による支援策等を取りまとめた計画。
自治体戦略2040 構想研究会	多様な自治体行政の展開によりレジリエンス(社会構造の変化への強靱性)を向上させる観点から、高齢者(65歳以上)人口が最大となる2040年頃の自治体が抱える行政課題を整理した上で、今後の自治体行政のあり方を展望し、早急に取り組むべき対応策を検討することを目的として国が設立した研究会。

用語集

サ行～タ行

用語	説明
DX推進プロジェクトチーム	本市におけるDX推進方法などを検討するため、各部の代表者からなる臨時組織。塩竈市DX推進ビジョンにおける各部からの意見反映、アクションプランの検討などを行う。
セキュリティポリシー	組織内の情報セキュリティを確保するための方針、体制、対策等を包括的に定めた文書のこと。
第6次長期総合計画	市政運営の指針となるもので、これからの塩竈市が目指すまちづくりの方向性を明らかにし、その実現に向けて、市民と協働で取組を進めるための最も基本となる計画。
DX (ディーエックス)	「Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)」の略で、デジタル(Digital)と 変革を意味するトランスフォーメーション(Transformation)により作られた造語。Transは交差するという意味があり、交差を意味する「X」と略される。
デジタル人材	専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決を牽引する人材のこと。
デジタル担当者 (DXリーダー)	各課のDXを推進する担当者。各課からの推薦により選出され、DX推進部門と各課との連絡調整を行うほか、各課の代表としてデジタル人材育成研修やセキュリティ研修などを積極的に受講し、課員に伝達する役割。

用語集

タ行～マ行

用語	説明
デジタルデバイド	パソコンやインターネット等の情報技術を利用する能力及びアクセスする機会を持つ人と持たない人との間に情報格差が生じる問題のこと。
電子申請サービス	各種行政手続をパソコンやスマートフォンからインターネットを利用して行うこと。
ネットワーク	パソコン、スマートフォンなどの通信端末や各種サーバーの間を有線や無線でつなぎ、情報の伝送を行うための通信設備のことであり、通信回線と通信機器から構成される。
FIT&GAP調査 (フィット&ギャップ調査)	現在の業務の構成と国から示されたパッケージの内容がどれくらい乖離しているのかを調べ分析すること。
BPR (ビーピーアール)	「Business Process Re-engineering(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)」の略で、既存の業務構造を抜本的に見直し、業務の流れを最適化する観点から再構築すること。
マイナンバーカード	本人の申請により交付され、個人番号を証明する書類や本人確認の際の公的な本人確認書類として利用できるICチップ付きカード。 氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバー(個人番号)及び本人の顔写真などが記載されている。

塩竈市DX推進プラン

令和8年3月

発行：塩竈市

編集：塩竈市役所総務部政策課デジタル推進係

住所：〒985-8501

宮城県塩竈市旭町1-1

TEL:022-355-5284(直通)